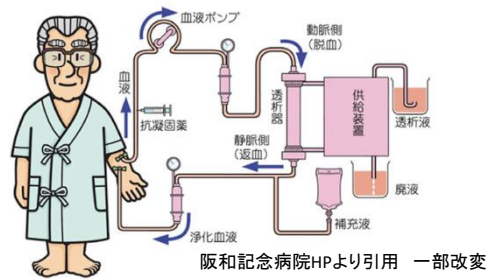
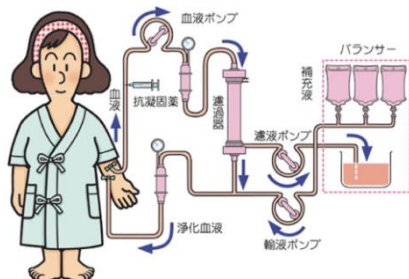
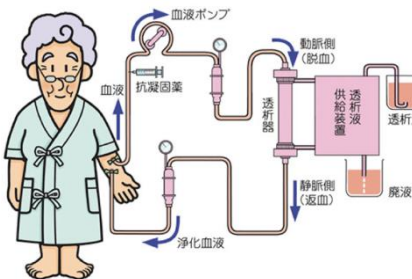




暑い夏ですがお盆も過ぎ去り、残すイベントは地蔵盆くらいでしょうか。同じ盆でもお盆と地蔵盆は違います。お盆の正式名称は仏教の盂蘭盆会(うらぼんえ)で、8月13日に迎え火でご先祖様や故人の霊を家に迎え、お供えや法要の供養を行い、16日に送り火や精霊流しで見送ります。

地蔵盆は京都が発祥とされ、近畿地方に主に根付いている行事で全国区ではありません。「親より先に亡くなった子供が賽の河原で苦しんでいるところを、お地蔵さまが救う」という伝説から子供の守護神として祀られているお地蔵様を供養する行事なのです。8月23日24日に行われることが多く、お下がりとしてお菓子がふるまわれるところが多く、楽しみに多くの子供たちが集まります。

当院では血液浄化療法として透析治療を行っています。その種類にはいろいろあります。今回は、当たり前のようにおこなっている血液浄化療法についてその違いについて復習したいと思います。



阪和記念病院HPより引用 一部改変

## 血液透析【HD】

血液と透析液とを透析膜を介して間接的に接触させ、拡散によって毒素の除去を行います。きれいになった血液は再び体内に戻されます。通常1週間に3回、1回の治療は4時間行われます。日本ではほとんどがこの血液透析を行っておられます。

## 血液濾過【HF】

限外濾過を大量に行い体液を除去することで、毒素の除去を行い、代わりに補充液を注入します。補充液を用いるため、血液透析時のような急激な血漿浸透圧変化が生じにくく、血圧低下を起しにくいと言われています。

## 血液濾過透析【HDF】

血液透析の特徴と、血液濾過の特徴を兼ね備えた血液浄化法です。血液透析と、10L/回程度の補充液を用いた限外濾過とを併せ行います。

## 限外濾過【ECUM】

限外濾過のみを行ない余分な水分の除去を行います。透析液を用いないため、毒素の除去はできません。



HDは拡散によりBUN等の小分子除去、HFは限外濾過によりβ2MGや炎症性サイトカインなどの中分子除去に優れています。HDFは拡散と限外濾過を合わせた治療を言えますね。補充液を用いるHDFの方がHDより血圧に及ぼす影響も少なくアミロイドーシスの原因となる物質の除去にも優れるため、間欠的に導入される患者さんが増えてきています。そうした治療のことをIHDF (Intermittent Infusion Hemodiafiltration, 間歇補充型血液透析濾過)と言います。

## セプザイリス®

(Cytokine-adsorbing Hemofilter)



膜の陰性荷電とサイトカインのアミノ基(陽性荷電)がイオン結合して吸着します。ろ過だけでは十分除去できなかった炎症物質の効率的な除去を可能とし敗血症に適応があります。

私が病棟で敗血症患者に行っているHDFはセプザイリスを用いたCHDF (Continuous Infusion Hemodiafiltration, 持続的血液濾過透析)です。IL-6などの炎症性サイトカインを吸着することによる、病状改善を目的としています。



## オンラインHDFって？

オンラインHDFは、透析液を浄化して補充液として使用し、オフラインHDFは、補液バックに入った薬剤を補充液として使用します。補液バックは高価でもあり補充液量は少なく(約10L)、オンラインでは補充液は多く設定でき(約25L)効率のより血液浄化が期待できます。

下記に対して効果が期待できます

- 透析アミロイドーシス
- 透析困難症(透析中の低血圧)
- レストレスレッグ症候群
- イライラ感・不眠
- 心不全
- 末梢神経障害
- 皮膚掻痒・皮膚乾燥
- 尿毒性心膜炎